令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立鷹合小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	東住吉区
学　校　名	大阪市立鷹合小学校
学 校 長 名	長谷　由紀夫

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立鷹合小学校では、第６学年　67名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立鷹合小学校の結果概要

平均正答率は国語が52%（全国60.9%）、算数が50%（全国56.4%）と全国平均を下回っている。
国語の「読むこと」（61.2%）や算数の「測定」（77.3%）で高い正答率を示す一方、国語の「書くこと」（38.1%）や算数の「変化と関係」（35.4%）・「データの活用」（39.0%）に課題がみられる。
平均無解答率は国語が2.8%（全国3.4%）、算数が2.0%（全国3.2%）であり、諦めずに最後まで解答しようとする意欲的な姿勢が伺える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】
「読むこと」（61.2%）や「話すこと・聞くこと」（57.7%）で高い正答率を示している。平均無解答率が2.8%と、全国平均（3.4%）より低い水準に抑えられている。
「書くこと」（38.1%）および「情報の扱い方に関する事項」（44.8%）の正答率が低く、記述での表現力や目的・意図に応じた情報の整理・活用に課題が残る。
【算数】
「測定」（77.3%）の領域で高い正答率を達成している。平均無解答率は2.0%（全国平均3.2%）であり、粘り強く最後まで取り組む姿勢が見られる。
「変化と関係」（35.4%）や「データの活用」（39.0%）の正答率が低く、伴って変わる２つの数量の関係の把握や、表・グラフを用いた統計的分析に関する理解の深化が必要と考えられる。

質問調査より

「自分にはよいところがある」（当てはまる：学校67.2% / 全国43.6%）や「友達との話し合いで考えを深められる」（当てはまる：学校57.8% / 全国43.5%）の回答率が全国平均を大きく上回っており、高い自己肯定感と協働性があることが伺える。
一方教科では、国語は好き・よく分かると答えた児童が全国平均より多い反面、「算数の授業内容がよく分かる」（当てはまる：37.5% / 全国41.9%）の割合が低く、算数への苦手意識の解消が課題である。

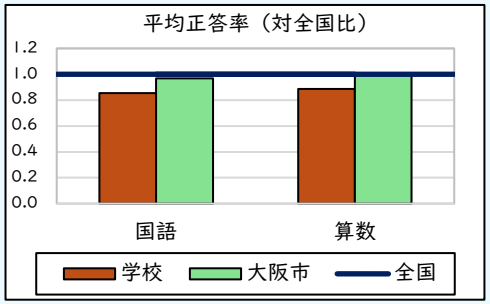
今後の取組（アクションプラン）

国語では、正答率が低めとなった「書くこと」や「情報の扱い方に関する事項」の改善に向け、文章や資料を引用しながら自分の考えを分かりやすく書き表す指導を日常的に取り入れ、記述力と情報活用能力の育成が必要であると考える。
算数では、理解度や正答率に課題が見られる「変化と関係」「データの活用」を中心とし、単に答えを求めるだけでなく、解いた根拠や考えの過程を言葉や図で筋道を立てて説明させる授業を定着させることにより、「筋道を立てて説明する授業」と苦手領域の克服が必要であると考える。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

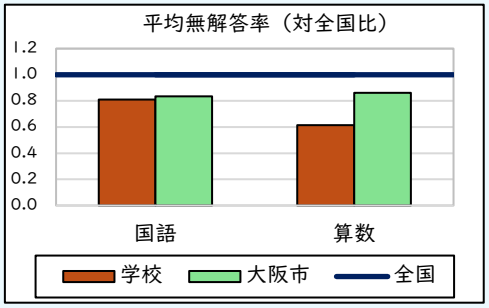
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	52	50
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



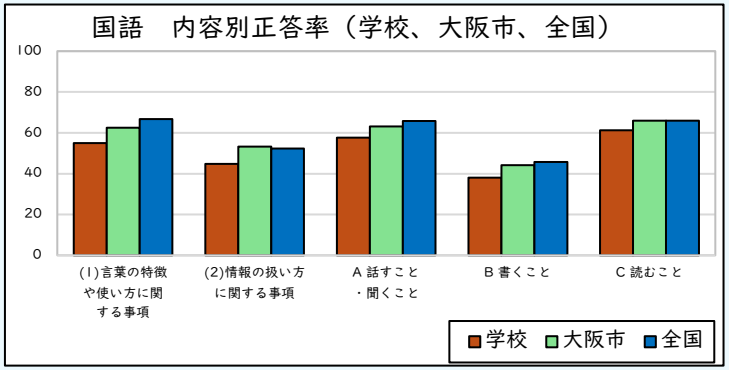
平均無解答率（%）

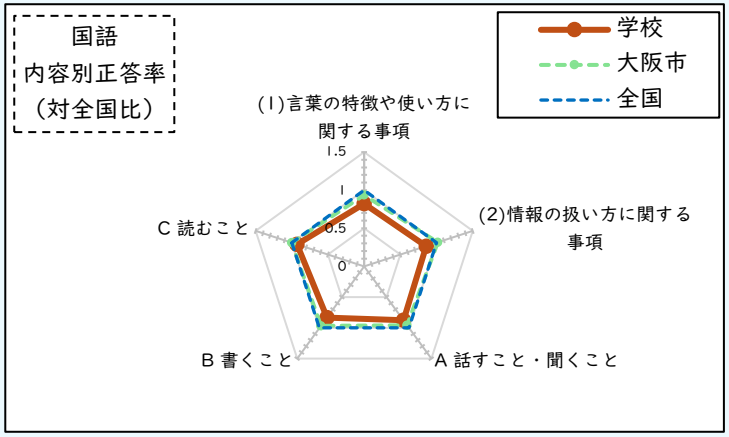
	国語	算数
学校	2.8	2.0
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

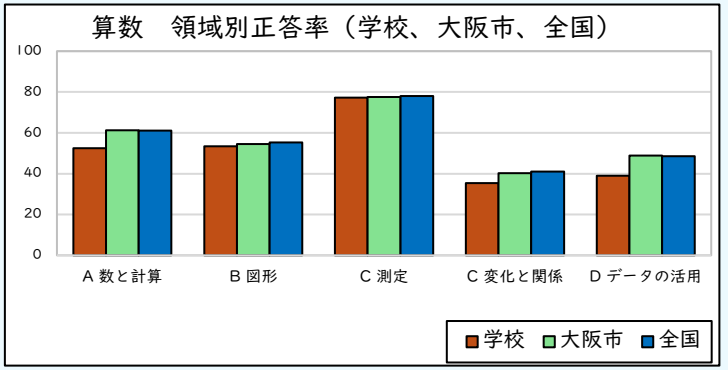
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	54.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	44.8	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	57.7	63.1	65.8
B 書くこと	2	38.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	61.2	66.0	65.9

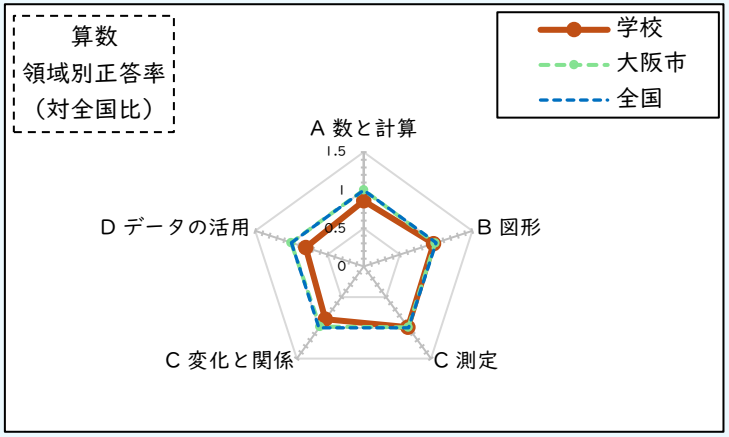




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	52.5	61.2	61.1
B 図形	4	53.4	54.5	55.3
C 測定	1	77.3	77.5	78.1
C 変化と関係	3	35.4	40.3	41.1
D データの活用	4	39.0	48.8	48.6

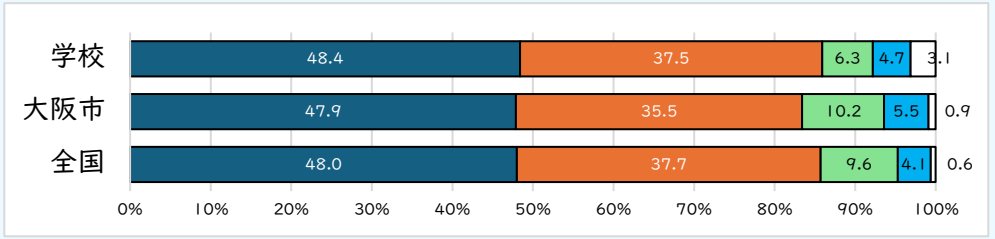


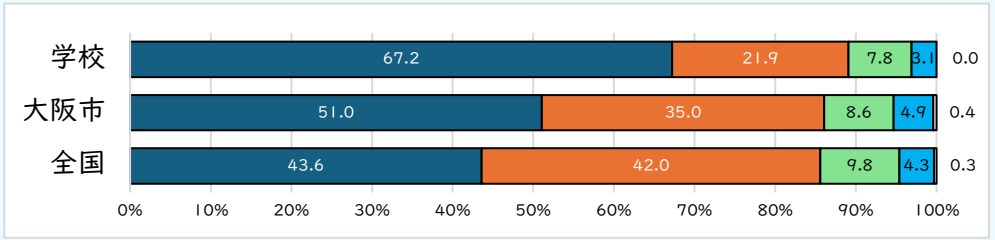


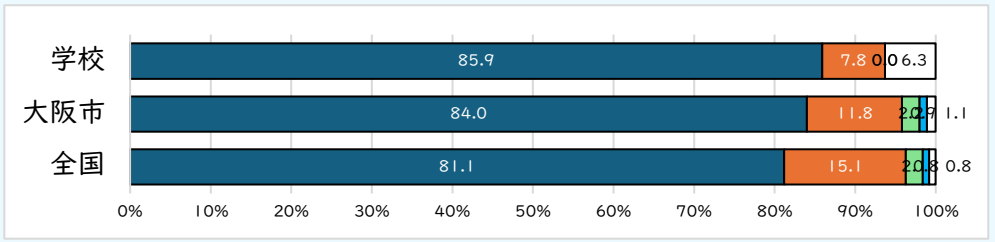
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（１）

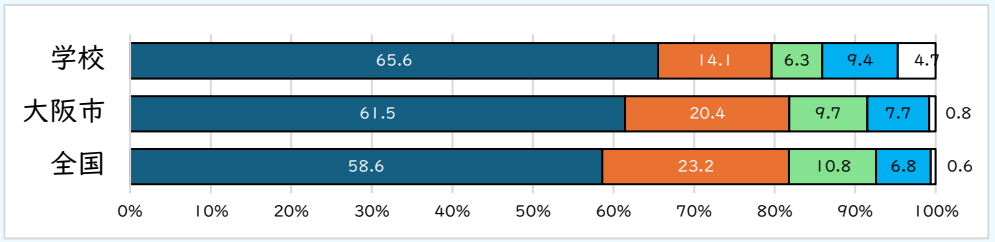
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

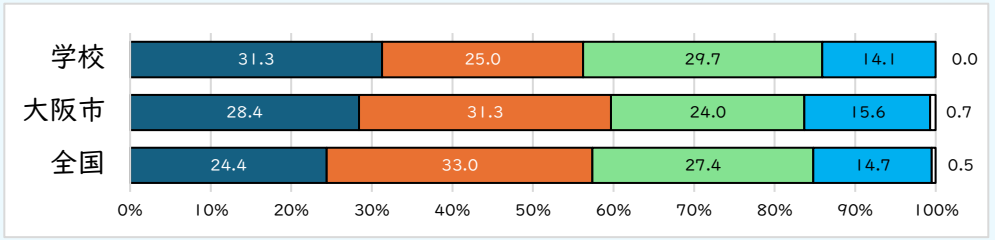
質問番号	質問事項
（１５）	学校に行くのは楽しいと思いますか
（８）	自分には、よいところがあると思いますか
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（１０）	将来の夢や目標を持っていますか
（５３）	国語の勉強は好きですか



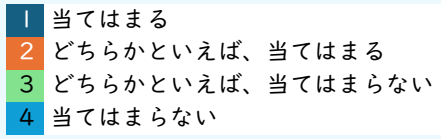


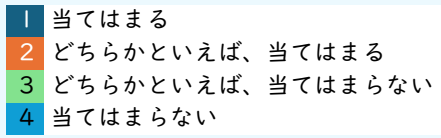


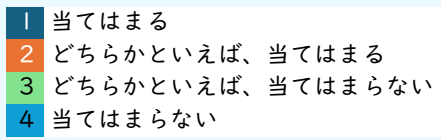


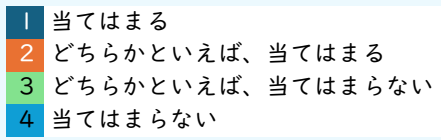


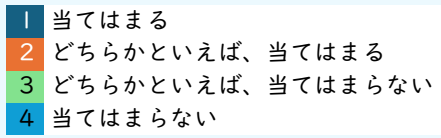










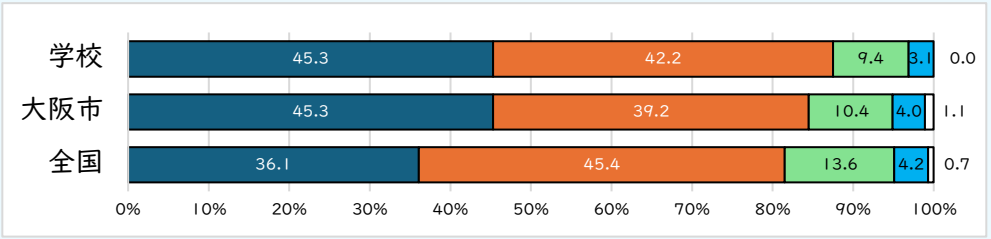


令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（２）

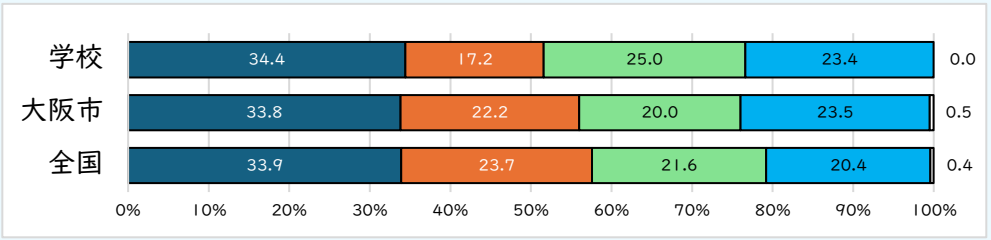
■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

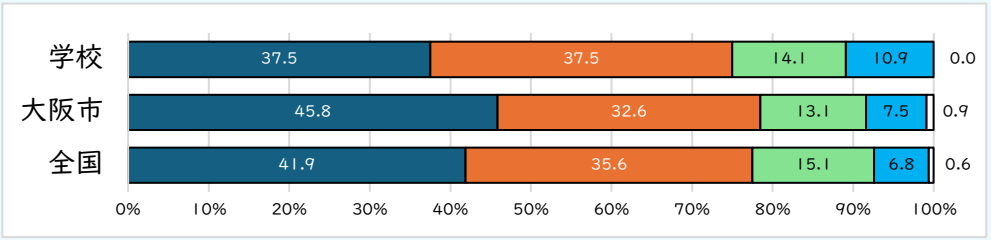
質問番号	質問事項
（５４）	国語の授業の内容はよく分かりますか
（６１）	算数の勉強は好きですか
（６２）	算数の授業の内容はよく分かりますか
（４２）	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
（２３）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



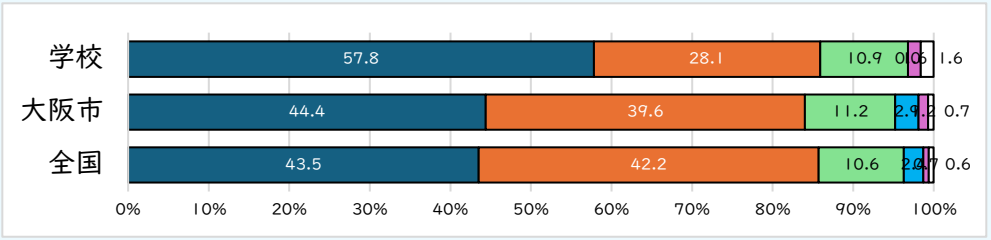
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



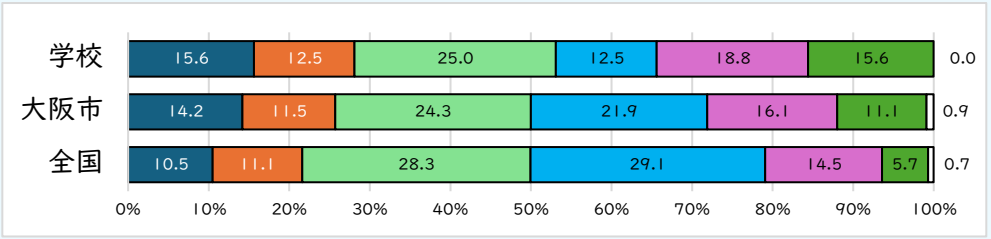
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



1 ３時間以上
2 ２時間以上、３時間より少ない
3 １時間以上、２時間より少ない
4 ３０分以上、１時間より少ない
5 ３０分より少ない
6 全くしない

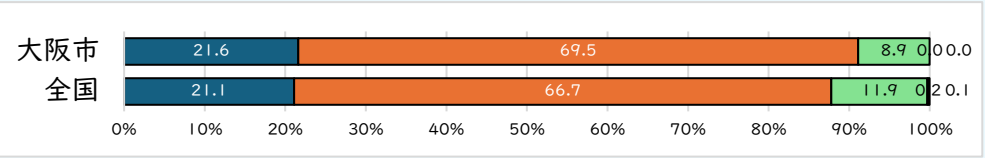
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

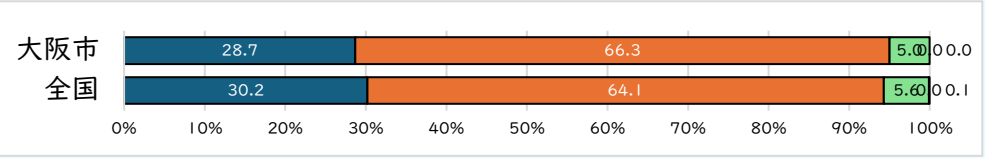
質問番号	質問事項
（２８）	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか
（４７）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか
（５１）	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、根拠を明確にして児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか
（６０）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか
（６７）	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

【学校の回答】　１　そう思う



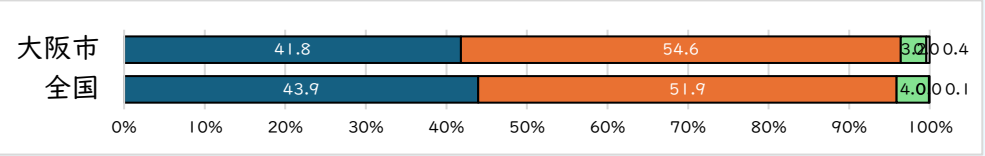
１ そう思う
２ どちらかといえば、そう思う
３ どちらかといえば、そう思わない
４ そう思わない

【学校の回答】　２　どちらかといえば、行った



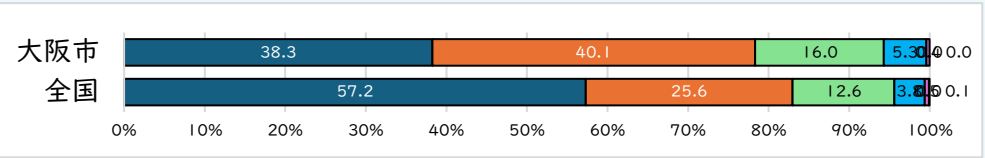
１ よく行った
２ どちらかといえば、行った
３ あまり行わなかった
４ 全く行わなかった

【学校の回答】　２　どちらかといえば、行った



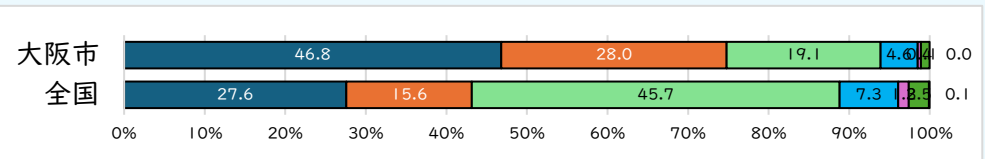
１ よく行った
２ どちらかといえば、行った
３ あまり行わなかった
４ 全く行わなかった

【学校の回答】　２　ほぼ毎日（１日に１回くらいの授業で活用）



１ ほぼ毎日（１日に複数の授業で活用）
２ ほぼ毎日（１日に１回くらいの授業で活用）
３ 週３回以上
４ 週１回以上
５ 月１回以上
６ 月１回未満

【学校の回答】　１　毎日持ち帰って、毎日利用させている



１ 毎日持ち帰って、毎日利用させている
２ 毎日持ち帰って、時々利用させている
３ 時々持ち帰って、時々利用させている
４ 持ち帰らせていない
５ 持ち帰ってはいけないこととしている
６ 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている